

慶雲寺報

平成17年8月号

お盆月となりました

梅雨明け後、連日暑さが続いております。山門周辺ならびに参道の「どうだん」刈り込みも済み、参詣の方々に涼やかな気持ちで参りいただけるものと思います。

13日に気持ちよくご先祖様をお迎えできますよう、各家のお墓やお仏壇の清掃等ご準備をお願いします。

◎ご寄付 御礼

一、伝道掲示板修復作業

為 当家先亡精霊菩提

小林榮次郎 殿
石川 武 殿

前号でお力添えをお願いしておりました日照等で傷んだ伝道掲示板ですが、よりしつかりした板に落ち着いた模様の壁紙を貼り付けていただき、見違えるように生まれ変わりました。

墓参の折にどうぞご覧ください。

一、墓参用雑巾沢山

為 当家先亡精霊菩提

竹澤 敬三 殿 瀧澤 明夫 殿
渡辺 栄 殿 村上 君江 殿
木村 三郎 殿 (順不同)

新品のストックが数少なくなっています。したが、多くの方からお供えいただきました。その想いに感謝しつつ、8月より新品を使わせていただきます。

NEWS

*7/28 ボーイスカウト「カブ隊」(小3~6)

(於/藤原町高德寺)

懇意にしている高德寺副住職さまからの誘いで、ボーイスカウト「カブ隊」(小3~6) 60名の坐禅会にて、副住職が約30分の法話を務めてきました。

静かに自分を見つめることの尊さ、何事もあきらめずじつくりやり抜くことの大切さを、夏休みの活動を前に、お話してきました。

「絵本を届ける運動」の

募金箱を設置します

仏教国カンボジア・ラオスに現地語の訳文を付した絵本を届けようという運動があります。日本語の絵本に訳文を貼り付け、現地の子供たちに送る。貼り付け作業は全国のボランティアの手で行われています。1冊2000円(書籍/訳文/輸送船賃込み)にて、現地難民キャンプの子供たちに安らぎを与える絵本を送ることが出来ます。

* * *

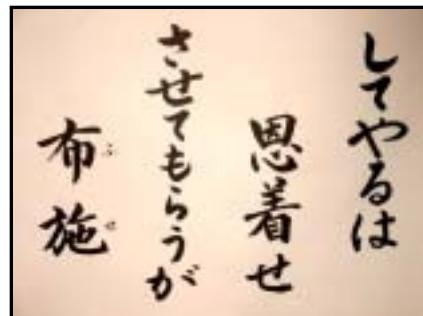
この運動の第1歩として、お盆期間中に募金箱を設置します。集まった募金を原資にして、来春をメドに、皆様のお力を借りながら訳文貼り付け作業の機会を設けたいと思います。よろしくご協力お願いします。

<http://www.jca.apc.org/sval/ehon/>

この運動は、曹洞宗国際ボランティア会を前身とするシャンティ国際ボランティア会(SVA)が運営しています。

◎伝道掲示板から

「三輪空寂」(さんりんくうじゃく)という教えがあります。これは、布施をする側も、される側も、施される物までも、3つ全てが等しく清らかでなくてはならないという教えです。



すなわち、見返りを期待して施すことがあってはならないし、逆の立場で、施されたことが当たり前と思つてはならないわけです。「くしてやったのに...」「これくらいしてもらって当然さ!」などと思つてはいけません。もちろん、施す物も、心の底から差し出される物でなくてはならないのです。

この夏、身近なところで「三輪空寂」の教えに触れさせていただきました。お寺では、伝道掲示板がキレイになりました。たくさんの方の雑巾をお納めいただきました。一針一針が手縫いのものもありました。どれもみな、清らかな心から差し出していたのだ、ありがたいお布施でございました。感謝申し上げます。

8月のお盆、「ご先祖様のお参りも、くしてやる」ではなく、「させてもらう」でお勤めしましょう。

◎盆棚経について

該当のお宅には、棚経の日程表を『寺報』に同封してあります。この日程に都合悪き場合は、慶雲寺へご一報ください。